

令和7年5月26日

学校法人山田学園
名古屋ビューティー専門学校
校長 山田 美智子 殿

令和6年度学校関係者評価委員会報告書

学校関係者評価委員会
委員長 水谷 晃

令和6年度名古屋ビューティー専門学校自己評価報告について、下記の通り評価結果を報告します。

1 学校関係者評価委員会開催日
令和7年5月26日(月) 名古屋ビューティー専門学校5階

2 出席者

[学校関係者評価委員]

委員長 水谷 晃 (有限会社パハックス)
委員 日比野 純奈 (ジェイアンドユー)
委員 平林 真奈美 (メイフェア)

[教職員]

副校長 平林 美佐子
教務主任 青木 賢治
教員 橋本 昌美
次長 佐原 範計

令和6年度 名古屋ビューティー専門学校自己評価報告書に対する項目ごとの評価

自己評価 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
2. 学校教育における職業訓練の特色は何か	4
3. 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

評価：理念・目的・教育人材像は明確に打ち出されており、業界のニーズにも柔軟に対応している点は適正な状況にある。

学生・保護者の理解をさらに高めていくことに注力すべき点はある。

(2) 学校運営 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 目標等に沿った運営方針が策定されているか	4
2. 運営方針に沿った事業計画が制定されているか	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4. 人事、給与に関する規定等は整備されているのか	4
5. 教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	4
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

評価：学校法人として短期大学・専門学校と運営しており、明確な組織づくりがなされていることから、適切な事業運営が行われている。

情報公開については、不十分な点がある。今後公開することのことであるが、速やかな対応を求めたい。

(3) 教育活動 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3

11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13. 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

評価：教育カリキュラム等については教育理念、育成人材像や業界ニーズに対して適切なものになっていると判断します。

業界関係者における授業展開やインターンシップなどにより実践教育につながる内容となっている。

学生評価基準も明確であり、今後も引き続き適正な学生評価の実施を期待する。

専門性の高い授業において、外部講師を招いて現状に合わせた授業展開は良いが、教員も幅広く学生対応ができるように研修等に注力することも重要であると思われる。

(4) 学修成果 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	3
3. 退学率の低減が図られているか	2
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

評価：就職率向上は職業意識の高い学生が在籍していることと見受けられる。資格取得率も概ね良好でありその点には問題はないと考える。

退学率については業界へ人材を送り出す教育機関として改善を求めたい。

卒業生の動向も注視し、サポートや現在の学校教育へのフィードバックし人材育成に活かしていくべきである。

(5) 学生支援 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	3
7. 保護者と適切に連携しているか	2
8. 卒業生への支援体制はあるか	2
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

10. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
---	---

評価：学生へ対応する体制は概ね整備されているようだが、現在では学生個々のタイプに合わせ、より密に対応していく必要があり、さらなる手厚いサポート体制の構築に注力すべきである。

体調面や技能・知識の修得状況などについても、保護者との連携を密にして、適正に学生指導につなげる努力を求めたい。

(6) 教育環境 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3. 防災に対する体制は整備されているか	3

評価：施設・設備の充実が教育の充実と直結することである。現在、改修へと動いているとのことであるが、学習に対して不備の無い環境づくりを構築して頂きたい。

(7) 学生の受入れ募集 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 学生募集活動は、適切に行われているか	3
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4

評価：18歳人口減少の中、学生募集は他の学校においても苦勞している部分であることは理解するが、学校の特色を明確に打ち出し、学生に魅力を感じ取ってもらえる対策に一層の努力・工夫を求めたい。

学納金については、現状に適合していると判断する。

(8) 財務 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3. 財務について会計監査が適切に行われているか	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3

評価：適正な学校運営をするためには、健全な財務基盤が重要になってくる。現在は適切に行われていても入学者数の減少など、将来的な予測を明確にして、事業の見直しなどを適宜行い、より一層安定した運営基盤を構築するよう努力願いたい。

(9) 法令等の順守 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4. 自己評価結果を公開しているか	2

評価：法令順守は最優先すべき項目である。引き続き適正に対応頂きたい。
自己評価の結果について、必要な項目は適切に公開して頂きたい。

(10) 社会貢献・地域貢献 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

評価：教育機関として、社会貢献・地域貢献の重要性を学生に理解させることも重要である。
積極的に活動いただくことを求めたい。

(11) 国際交流 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

評価：以前より国際交流に対応してきた点は評価します。

総評：学校法人として短期大学、専門学校を運営しており、教育理念や人材育成に対するカリキュラム、成績評価などは適切に構築されており在學生に対する体制に指摘する点はない。

在學生に対する体制の整備はなされているが、卒業生への対応に向けた体制の整備をより整える必要もあると感じる。

現時点での財務基盤は良好であるようだが、18歳人口の減少に伴う入学者数の減少を念頭に置き、学生募集への新たな取り組むことが求められると思われる。

業界関係者との連携も図り、現状、ハード面やソフト面で不備のある点は速やかに対処し、魅力ある学校づくりに尽力されることを願う。